

# 公開実用 昭和 58— 99714

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—99714

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>H 01 B 7:00  
7:36

識別記号

庁内整理番号

7435—5 E  
7161—5 E

⑭ 公開 昭和58年(1983)7月7日

審査請求 有

(全 頁)

⑮ 絶縁電線

岐阜市安良田町1丁目15番地株  
式会社ハヤシ内

⑯ 実 願 昭56—197124

⑰ 出 願 人 株式会社ハヤシ

⑱ 出 願 昭56(1981)12月28日

岐阜市安良田町1丁目15番地

㉑ 考 案 者 林隆聖

㉒ 代 理 人 弁理士 仙波正 外2名



明 細 書

1. 考案の名称

絶縁電線

2. 実用新案登録請求の範囲

電気導体 1が複数本並べられて透明な外被 4で  
共通に被覆されてなる絶縁電線。

3. 考案の詳細な説明

(考案の目的)

本考案は、商品陳列ケース等に内装された照明  
器具へ電気を供給するために使用される絶縁電線  
の改良に関するものである。

本考案の主たる目的は、絶縁電線の被覆を透明  
体に形成することにより、商品陳列ケース等内  
における装飾効果と照明効果を高めることにある。

(従来技術)

従来、商品陳列ケースに内装された照明器具へ  
電気を供給する電線は、灰色等に着色された不透  
明体のものが使用されていた。今日の商品陳列ケ

(1)

ースは、商品を取替するという機能だけでなく、その商品を豪華に見せるためにケースを全て透明ガラスで作るとともに照明器具で照明して装飾効果を高めるようにしたものが多くなっている。ところで、従来の灰色に着色された電線が透明ガラスの表面に配線されると違和感を与え、美観を損なう欠点があった。そのため、電線は陳列ケースのコナにしか配線できず、照明器具の取付け位置が制限される等の不都合を生じることが多かった。

(考案の構成)

本考案は、上記欠点を解消するため、被覆を透明体に形成することにより透明ガラスに対して違和感を与えないようにしたもので、以下実施例を図面に基づいて説明する。

第 1 図において、電気導体 1 は所要の絶縁性と可撓性を備えた透明な合成樹脂製のシース 2 で被覆されて絶縁線 3 を形成している。この絶縁線 3



は 2本またはそれ以上複数本平行に並べられてさらに共通の外被 4で被覆されている。外被 4はシース 2と同様に所要の絶縁性と可撓性を備えた透明な合成樹脂で形成される。電気導体 1には銅線の地肌が露出した銅色を呈するものと、銅線にメッキが施されて銀白色を呈するものがある。従って、図に示すように 2本の電気導体 1を平行に設ける場合には、2本とも銅色を呈する電気導体 1を組み合わせるときと、銅色を呈する電気導体 1と銀白色を呈する電気導体 1を 1本ずつ組み合わせるときがある。異色の電気導体 1を 1本ずつ組合わせた絶縁電線の方が電気配線において利点が多い。特に、直線回路において使用されるとき、プラス側とマイナス側の識別が容易で、誤配線のおそれがない。

外被 4の断面形状は第 1図に示す偏平な長円形のほか、第 2図に示す断面長方形のもの、第 3図に示す断面三角形状のものがある。

## 公開実用 昭和 58— 99714



第 2 図に示す断面長方形のものは、第 1 図に示す偏平な長円のものに比べて取付け面に対する接触面積が大きくなるから、ステップルによる固定が不能なガラスに対しても接着剤による固定が容易である。従って、陳列ケースのコーナーだけでなく第 4 図に示すように陳列ケースの壁面中央部にも容易に配線固定することが可能となる。

次に第 3 図に示す断面三角形のものは、第 4 図に示すように壁面が直角に構成されたコーナーへ配線する場合に適し、壁面に隙間なく密着し、しかも接触面積が大きくなるから、接着剤による固定が容易となる。

上記実施例の絶縁電線をガラスに接着して使用する場合には、外被 4 の外面に予め粘着剤（感圧性接着剤）を塗布するとともにその粘着剤層を剥離紙で保護しておき、使用時に剥離紙を剥して取付け面に押圧するとよい。粘着剤は両面粘着テープであってもよい。



尚上記実施例は、電気導体 1 をシース 2 で被覆してなる絶縁線 3 を共通の被覆 4 で被覆したが、第 5 図に示すように電気導体 1 を直接共通の被覆 4 で被覆してもよいことは勿論である。

(考案の効果)

本考案は、外被を透明に形成した絶縁電線であるから、ガラス面に固定されても曇和し、美観を損うことがない。しかも内部の電気導体が透視でき、照明器具から光線を受けることにより乱反射するとともに電気導体が光沢を発生して装飾効果を高める。また配線が陳列ケース等の美観を損なうことがないから照明器具を最適な位置へ取付けることができ、照明効果を高めることが可能である。さらに電気導体が透視できるから該配線のおそれがない。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案第 1 実施例の斜視図、第 2 図は第 2 実施例の斜視図、第 3 図は第 3 実施例の斜視

**公開実用 昭和 58— 99714**

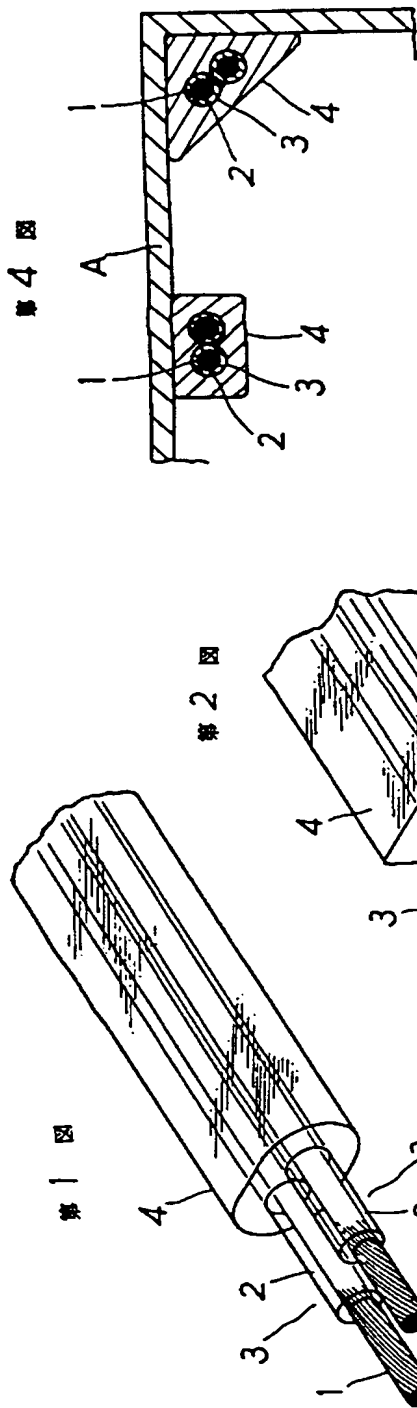
図、第 4図は使用状態を示す断面図、第 5図は第 4実施例の斜視図である。

(主要部分の符号の説明)

1.....電気導体	2.....シース
3.....絶縁線	4.....外 被

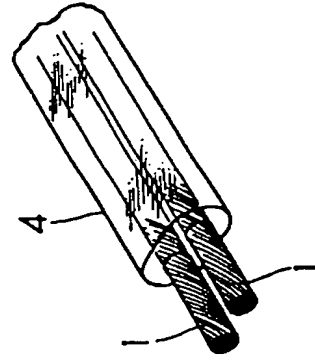
代理人 弁理士 仙 波 正 (外 2 名)





(8)

第 5 図



138

実用 58-99714

代理人 弁理士 仙波 正 外 2 名



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
  - ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
  - ☐ FADED TEXT OR DRAWING
  - ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
  - ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
  - ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
  - ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
  - ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- 
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
  - ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**